



西区まると博物館推進会の

「大樹入門講座と観察会」に、行ってきました！

記念アルバム

- 目的 大樹(大木)の入門講座及び観察会を通して樹木への興味を持ち、「自然の宝」への理解を深めるため。
- 主催 西区まると博物館推進会 ■ 共催 福岡市西区役所
- とき 平成29年4月22日(土) 一般参加者26名
- ところ 福岡市西区／糸島市
・さいとぴあ(会議室)・横浜の熊野神社・飯盛神社・高祖神社
- 内容 ①大樹入門講座(大樹の解説等) ②大樹観察会(バス移動)
講師:森 陽一 氏(樹木医・まると博自然部会々員)

(特集) Cleanup Campaign クリーンナップ キャンペーン!

私たち自然部会は、「自然や歴史遺産」のゴミ拾いなどを通じて、「自然環境保全」に微力ながら取り組んでいます。



- **大樹とは**、大きな木、大木。定義：1988年に「地上から130cm の位置で幹周（幹の円周）が、300cm 以上の樹木を対象とする」と定めた。
- **樹木医とは**、木の調査・研究・診断・治療などを通して、樹木の保護、育成・管理、樹木に関する知識の啓蒙などを行なう専門家で、その仕事は広範囲にわたる。



「大樹入門講座」



👉 **ちょっとトリビア「寄らば大樹の陰」** 大樹の下が安全である、からきている。つまり、「確実性、安定性を重視して、危うい道を選ばないこと」をすすめたことわざである。語源は中国後漢時代の武将「馮異(ふうい)」で、諸将が手柄の論議をする際にはこれに加わず、ひとり「大樹」の下に離れた。兵士は彼を「大樹將軍」と呼び、慕い従ったという故事にちなんだもの。また、謙虚さを表す言葉に「馮異(ふうい)大樹」「大樹將軍」などがある。

観察会・西区横浜の今山、熊野神社



「見て、触れて」只今、授業中！ 熊野神社スギ保存林にて



境内の保存樹「むくのき」

- 👉 **保存樹**：「都市の美観風致を維持するための樹木の保存に関する法律」に基づき指定された樹木。現在、福岡市に約 1,900 本が指定されている。
- ※指定基準 ① 民有地にある樹形の良好な樹木 ② 地上 1.5m における幹回りが 1.5m 以上 又は、高さが 15m 以上の樹木 ③ 株立ちした樹木で、高さが 3m 以上。
- (注)風致とは：おもむき(趣き)、あじわい、とくに自然の風景などのもつおもむき。



「だいふゴミ落ちてるなあ、もう少しマナー守って欲しいね！ブツブツ～」



(カンサイタンポポ)



(シロバナタンポポ)

春、道端で見かけるタンポポのほとんどは「セイヨウタンポポ」である。今山は日本固有の「カンサイタンポポ」と、九州にしかないと言われている「**シロバナタンポポ**」が、一緒に群生している数少ない場所である。

◆今山遺跡(縄文・弥生時代)― 山全体が国指定の史跡
・弥生時代の「石斧製造所」跡 ここで製造し九州各地へ



「太型蛤刃石斧」
(ふとがたはまぐりばせきふ)



花とオジサン!? ならぬ
「ミナミヒメヒラタアブ」
(ハエ科ハナアブ科)

観察会・高祖神社 (糸島市)



「ご神木の説明に熱心に聞き入る参加者」 うん!! その黄色のスタッフ、ごみ袋は持っているけど中身は入っていないなあ。ちゃんとやってよ!



「スダジイ」の古木
(ブナ科シイ属の常緑広葉樹。普通、シイというのは本種をさす)
“昔からずっと、人の営みを見守ってきた…”

見事な「サルノコシカケ」
絵になるね!



「アリドウシ」アカネ科アリドウシ属の常緑低木。葉の付け根から出ているトゲが蟻をも刺し通すという意味。また、赤い実がつく正月の縁起物として、一両(イチリョウ)とも呼ばれる。



使命感に燃え! ただ、黙々と…



檜皮葺(ひわだぶき)のために皮(檜皮・ひわだ)を採取した後のヒノキ(檜)

檜皮(ひわだ)とは:屋根葺(ふき)材用に檜から採取した樹皮で、樹齢 70～80 年以上の立木から採取する。一度採取すると、樹皮がもとのように生成されるまでに8～10 年を要する。重要文化財に指定されている檜皮葺の建物は約 700 棟(重要文化財以外も含めると 1,650 棟)あり、700 棟の維持に年間約 3,500 m²の葺き替えが必要であり不足している。

「檜皮葺建築の例」 住吉神社本殿、清水寺、出雲大社本殿、厳島神社の諸殿など。屋根のきれいな曲線は檜皮葺ならではのものである。
(日本特用林産振興会)



住吉神社本殿

観察会・飯盛神社



「ベッコウタケ」などの根株腐朽菌(ふきゅうきん)に侵され枯れた「**ホルトノキ**」(ホルトノキ科常緑高木・別名モガシ) 語源:平賀源内が、オリーブの木と間違えて「ポルトガルの木」と呼んだことからその名が付いたとか。また、当時オリーブ油は、「ポルトガルの油」と呼ばれていたらしい。

“小さなキノコが大木を枯らす”

「ベッコウタケ類」 サルノコシカケ科、広葉樹の根株腐朽菌(ふきゅうきん)、根株から侵入し衰弱させ枯死させる、こわ～いキノコ。



樹木の説明時も、かたときもゴミ袋を離さない、結構けっこう。いい仕事してますね！

—おわり—

西区まるごと博物館推進会 歴史部会

〒819-8501 福岡市西区内浜1丁目4-1

(西区役所企画振興課) TEL 092-895-7032

(文・写真:岩田)



ご苦労様でした！